



令和 7 年 1 0 月 2 8 日

合気道開祖植芝盛平翁を縁とする会に新宿区が新たに参加
相互交流覚書締結を実施＝ 1 1 月 8 日

東京都新宿区の区立若松地域センターで 1 1 月 8 日、合気道開祖植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書の締結を行う。

平成 2 0 年 2 月 2 3 日に北海道遠軽町、茨城県笠間市、和歌山県田辺市、京都府綾部市が友好都市宣言を行っているが、このたび、新宿区を加えて相互交流を促進する。

植芝盛平翁は田辺市で生誕。北海道開拓団として白滝村（現：遠軽町）に集団入植し、同村の開基となる。父危篤の報を受け、北海道から田辺市に帰省する途中、大本教の出口王仁三郎に出会い思想に感銘を受け、綾部市に移住し合気道を創設する。合気道を普及させるため東京都新宿区に道場を設立。笠間市に日本で唯一となる合気神社を建立し、合気道の一大拠点とした。

記

1 日 時 1 1 月 8 日（土）午後 4 時～4 時 3 0 分予定

2 場 所 新宿区立若松地域センター（新宿区若松町 12-6）

3 出席者 北海道遠軽町 佐々木修一町長
茨城県笠間市 近藤慶一副市長
東京都新宿区 吉住健一区長
和歌山県田辺市 真砂敏充市長
京都府綾部市 山崎善也市長
合気会 植芝守央・第 3 代合気道道主

4 参 考

①植芝盛平翁（明治 1 6 年～昭和 4 4 年）

明治 1 6 年 和歌山県西牟婁郡西ノ谷村（現：田辺市）で生誕

明治 4 5 年 開拓団長として北海道紋別郡白滝原野（現：遠軽町）に入植。
柔術の達人竹田惣角から大東流柔術の教えを受ける。

大正 8 年 京都府何鹿郡綾部町（現：綾部市）で宗教家出口王仁三郎に出会う。

翌年、修業道場「植芝塾」を開設。

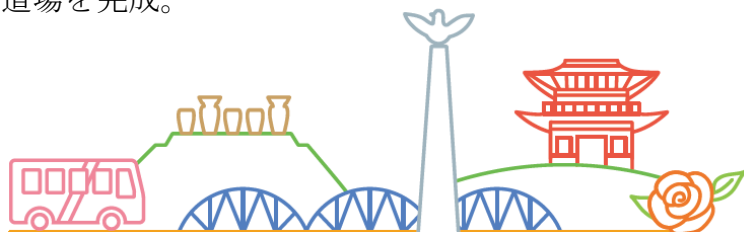
昭和 6 年 東京都新宿区若松町に合気道専門道場「皇武館」（現：合気道本部道場）を開設。

昭和 1 5 年 「合気武道」と呼称。昭和 1 7 年に「合気道」に改める。

昭和 1 8 年 茨城県岩間町（現：笠間市）に合気神社を建立。

翌年、合気神社付属道場を完成。

昭和 4 4 年 永眠（享年 8 6 歳）



②植芝翁ゆかりの会について

- ・平成13年、合気道ゆかりの和歌山県田辺市、茨城県西茨城郡岩間町（現：笠間市）、北海道紋別郡白滝村（現：遠軽町）の3自治体が友好都市を提携。
- ・平成20年2月23日、合気道ゆかりの田辺市、笠間市、遠軽町と綾部市の4市町での友好都市提携の調印を行い、合気道を通じての友好を促進。
- ・平成24年2月15日、東日本大震災（平成23年3月発生）後、遠隔地での災害発生時等における相互支援の重要性を実感する中で、この4市町が「合気道創設者ゆかりの友好都市間における災害時相互応援に関する協定」を調印。
- ・平成25年10月30日には、田辺市と綾部市との間で原子力災害発生時における応援に関する覚書を締結。
- ・記念行事での交流（招待）、田辺市での植芝盛平翁を偲ぶ会、市長間での相互訪問や懇談、広報紙の相互発送なども行っている。

③合気道について

盛平翁は、「合気とは敵と戦い敵を破る術ではない。世界を和合させ、人類を一家たらしめる道である」といい、そもそも合気道は、相手と相和して切磋琢磨をはかり自己の人格完成を目指す武道だと述べている。

すなわち、「合気道とは、各人に与えられた天命を完成させてあげる羅針盤であり、和合の道であり、愛の道」である、と。

この理想は、日本のみならず世界の武道として広く愛されるとともに大きく発展を続け、公益財団法人合気会により世界約140の国と地域への普及活動と、全国約2,400カ所の道場団体の交流と振興を行っている。

<問い合わせ>

秘書広報課 課長 野間知亜紀 電話0773（42）3280（内線219）